

第4章 成果指標（KPI）の考え方

本計画におけるKPI設定の基本的な考え方は、「交通局の担うべき使命・役割の達成」と、それを支える「収支均衡の経営」の両立にあります。具体的には、以下の原則に基づき指標を設定します。

1 乗合事業における効率性とサービス向上の両立 ※①～⑥

「市民の生活の足」である乗合事業を維持していくためには、「路線の維持」と「利用者サービスの向上」が重要です。

しかし、単に利用者数を増やすために非効率な運行を行うことは、交通ネットワーク全体の持続性を損ない、結果として市民全体の利便性を低下させるリスクがあるという認識に立ちます。そのため、「多くの市民にご利用いただくこと」は重要としつつも、それを「収支均衡の経営を前提とした最大限の利用者サービスの向上」の範囲内で追求します。

2 貸切・附帯事業等の強化 ※④、⑥、⑦

乗合事業の路線を最大限維持するためには、交通局全体の経営基盤を強化し、乗合事業を支える原資を確保することが重要です。そのため、貸切・受託事業等の附帯する事業の収益を強化します。

成果指標		目標値	令和6年度実績値	目標値の考え方
①	運転者の充足率（年間運転者数/年間必要人数）	95%以上	88.3%	「路線の維持」を図るため、安定的な運転者確保を目指します。
②	営業係数200以下の系統の割合	80.0%以上	57.5%	「路線の維持」を図るため、利用者のニーズに沿った効率的な運行を目指します。
③	目標実車率（年間実車走行キロ/年間総走行キロ）	80.0%以上	76.0%	「路線の維持」を図るため、回送を減らした効率的な運行を目指します。
④	事故件数に占める有責事故割合	40.0%以下	42.0%	全事業（乗合、貸切、受託事業）において、安全安心な運行を目指します。
⑤	年間利用者数/年間総走行キロ	1.40人キロ以上	1.30人キロ	「利用者サービス向上」を図り、より多くの方にご利用いただくことを目指します。
⑥	収益的収支の比率	100%以上	100.5% (86.0%)	全事業（乗合、貸切、受託事業）における収支均衡を達成し、持続可能な経営を目指します。
⑦	貸切事業の目標稼働率	70%以上	38.2%	貸切事業の強化を行い、全事業の収支均衡を目指します。

※成果指標⑥の（）内は、経営支援補助金3億円を除いた収益的収支の比率

継続的な運行にかかる「収益的収支」の均衡を図り、事業の存続に必要な施設の維持、車両の購入等にかかる「資本的収支」とのバランスを図りながら、持続可能な経営を行っていきます。

(単位：百万円、税込)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収益的 収支	収益的収入 (A)	2,170	2,199	2,258	2,266	2,336
	営業収益	2,000	2,029	2,088	2,096	2,166
	うち 乗合収入	851	862	848	835	829
	うち 貸切収入	679	690	734	744	793
	うち 受託収入	419	425	453	463	489
	営業外収益	170	170	170	170	170
	うち 他会計補助金	61	61	61	61	61
	収益的支出 (B)	2,162	2,181	2,203	2,234	2,265
	営業費用	2,048	2,061	2,081	2,106	2,135
	うち 職員給与費	1,330	1,357	1,384	1,411	1,440
	うち 減価償却費	178	157	143	131	125
	営業外費用	112	118	120	126	128
収支差引 (A-B)		8	18	55	32	71
資本的 収支	資本的収入 (C)	66	89	98	109	109
	うち 企業債	61	84	93	104	104
	資本的支出 (D)	161	186	197	216	224
	うち 建設改良費	104	124	128	137	137
	うち 企業債償還金	55	61	67	77	86
収支差引 (C-D) = (E)		▲95	▲97	▲99	▲107	▲115
補填財源 (F)		67	130	113	138	143
単年度実質資金収支 (E+F)		▲28	33	14	31	28
資金剰余		489	522	536	567	595

参考：市営バスの収支状況

- 乗合収入は、年々減少。特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少
- 貸切収入は、営業強化により増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は減少、令和3年度以降は回復傾向
- 受託収入は、コロナ禍にあっても、特別支援学校の増便等により、収入を維持。以降も同水準を維持
- 収益的収支は、平成27年度に黒字となったが、平成28年度以降は赤字。令和5、6年度は経営支援補助金により黒字
- 年度末累積資金剩余も平成27年度は16.5億円であったが、令和4年度には3.6億円まで減少

新型コロナウイルス感染症の影響													(単位：千円)	
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
収 益	1,840,140	1,824,337	1,838,886	1,793,462	1,811,541	1,867,060	1,804,703	1,760,564	1,694,320	1,865,296	2,062,730	2,069,658		
うち乗合収入	1,122,251	1,089,499	1,087,144	1,060,460	1,045,776	1,019,078	970,955	685,744	651,883	746,987	767,445	770,965		
うち貸切収入	231,714	212,607	238,168	238,731	256,752	277,396	250,872	109,797	230,636	232,167	234,468	292,520		
うち受託収入	232,594	232,009	216,442	248,129	283,027	307,139	363,478	496,841	491,951	547,307	452,113	446,717		
うちコロナ 補助金	-	-	-	-	-	-	-	111,812	96,800	-	-	-		
うち土地売却益	-	-	-	-	-	-	-	141,139	-	-	-	-		
うち経営支援 補助金											300,000	300,000		
費 用	1,834,477	2,457,381	1,764,853	1,825,295	1,906,730	1,938,366	1,980,261	1,863,411	1,885,645	2,062,944	1,909,643	2,058,857		
うち職員給与費	1,171,806	1,177,578	1,147,130	1,179,731	1,214,708	1,232,967	1,233,306	1,203,695	1,149,060	1,150,360	1,134,226	1,284,182		
うち燃料費	186,150	170,505	124,713	118,503	138,530	163,449	158,621	108,770	143,940	160,895	154,861	153,410		
収益的収支	5,663	▲ 633,044	74,033	▲ 31,833	▲ 95,189	▲ 71,306	▲ 175,558	▲ 102,847	▲ 191,325	▲ 197,648	153,087	10,801		
単年度資金収支	66,513	▲ 73,425	3,658	▲ 82,330	▲ 65,510	▲ 99,779	▲ 255,575	▲ 205,552	▲ 280,633	▲ 297,025	149,786	40,471		
年度末累積資金剩余	1,716,675	1,643,250	1,646,908	1,564,578	1,499,068	1,399,289	1,143,714	938,162	657,529	360,504	510,290	550,761		

出所：北九州市交通局



市営バスをご利用をいただきありがとうございます
これからも「市民の生活の足」を守り続けます

北九州市交通局一同